

1. 都市景観とは

○都市景観とは“まちの風景”

- “都市”は「まち」、「景観」は「風景、外観、けしき、ながめ」を表す言葉です。特に、景観の“観”は「見えるさま、様子、状態」という意味を持ちます。
- 『都市景観』を言い換えれば「まちの風景」となります。「景観」という言葉を使うのは“みる人(つまり私たち)がいる”ことを明らかにするために、人と風景の関わりがあって都市景観がなりたちます。



○都市景観は自然がベースになっている

- 風景は、丘陵や平地、川等の自然の地形が基礎（ベース）になっています。都市景観は、自然の風景の中に、建築物や道路等が形成されています。
- 風景を大切にし、それに合わせたデザインを行い、時間をかけて整えながらそだてていくことによって優れた都市景観となります。



○都市景観は“まちのイメージ”を伝える

- 閑静な住宅街、にぎやかな商業地といった都市景観の様々な状況は、見た感じや、音、香り等、人間の五感を通して私たちに伝わります。これが、まちのイメージをつくっていきます。
- よいイメージのまちに対して、私たちは好ましい印象を持つ等、魅力的な都市景観はまちのイメージを高めることにつながります。



○都市景観とは“まちの文化”の現れ

- 都市景観は、まちの文化の現れであり、地域社会におけるまちづくりの歴史や、そこで暮らしてきた人々の価値観が積み重なったものともいえます。
- 魅力的なまち、文化の香り高いまちは、市民の生活へも良い刺激をもたらし、日々の生活を豊かにします。住んでよかった、このまちに育ってよかったと実感できる、そして最も定住意向を高める要素が都市景観です。



2. 都市景観形成とは

○地域の特徴豊かな景観をまもり、つくり、そだて、いかすこと

- 都市景観の形成とは、他のまちの美しい景観をまねることではありません。
- それぞれの地域が持つ特徴的な景観をさらによりものへと質を高めること、「豊中らしさ」あふれる都市景観へと、まもり、つくり、そだて、いかしていくことです。



桜並木と調和したまちなみ（永楽荘）

○美しく飾るだけでなく、住みよいまちにすること

- 都市景観の形成は、見た目を美しく飾ることと誤解されがちですが、五感のすべてから心地よさを感じるまちにすることが大切です。
- そのことが“住んでよかった”と実感できるまち、安心して暮らせるまちにもつながります。



デザインのまとまりが心地よいまちなみ（中桜塚）

○時をかけて、形成するもの

- まちにはたくさんの建築物等があります。一つだけが優れていても、良い都市景観にはなりません。まちの中で見えるすべての要素が、美しく、バランス良く見えることが大切です。
- 都市景観の形成は、たくさんの人が関わって、一つひとつの要素を長い年月をかけて整えてこそ、すばらしいものとなります。

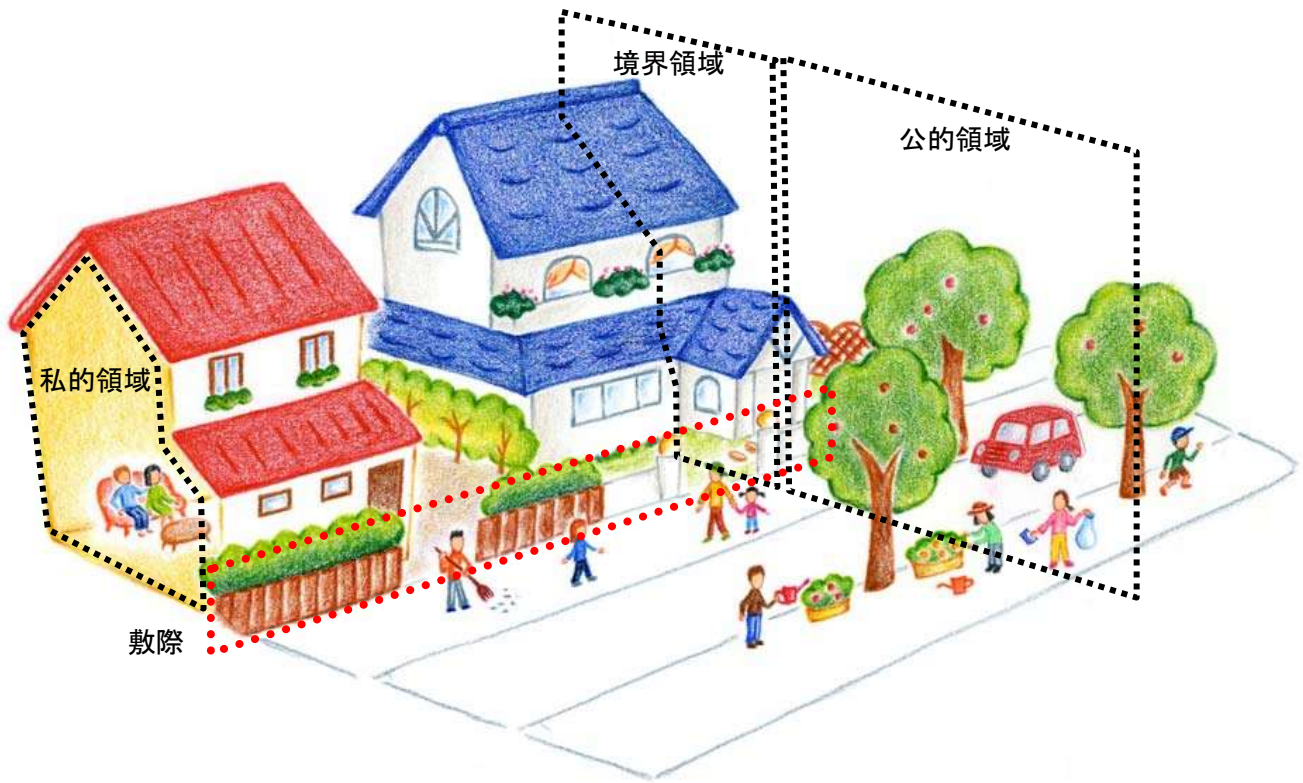


建築物や緑等が調和したまちなみ（千里中央地区から南方向を望む）

3. 都市景観形成の対象領域

都市景観の形成は、道路や公園等の公共空間だけでなく、景観として認識でき、景観に影響を及ぼすものすべてを対象にすることが必要です。

都市空間は、下図のように公的領域、境界領域、私的領域の3つに分けることができますが、本計画では、「公的領域」と「境界領域」を対象とします。



【対象領域】

<p>①公的領域</p>	<p>○公共の空間で、不特定多数の人が行き交う、使う、眺める場所です。都市景観を形成する主な空間となっています。</p> <p>○公的領域の維持・管理は、行政が主となって行っていましたが、「みんなの空間」として、市民・事業者・NPOも参加・協力し、清掃・緑化・整備計画づくり等、様々な場面から景観形成に取り組むことが大切な場所です。</p> <p>(公的領域の例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1720 847 2018"> <p>駅舎と調和した駅前広場</p> </div> <div data-bbox="938 1720 1390 2018"> <p>緑豊かな道路空間</p> </div> </div>
--------------	---

<p>②境界領域</p>	<p>○公的領域と私的領域の間です。建築物の屋根、外壁、垣や柵、玄関、アプローチ、擁壁、屋外広告物（看板）等、外部に面する建築物や外構の要素が含まれます。</p> <p>○その中で、道路・歩道に接する境界領域は「敷際^{しきぎわ}」と呼ばれ、道行く人が間近に眺める部分のため、まちの印象を良くも悪くもする等、景観形成に大きく関わる部分です。</p> <p>○近年、玄関先や窓辺、敷際等を花やみどり、照明等で飾り、外を通る人の目を楽しませている事例も多く見られます。</p> <p>（境界領域の例）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>事業所の敷際</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>住宅地の敷際</p> </div> </div>
<p>③私的領域</p>	<p>○民間施設や公共施設の屋内空間等、外から見えない部分です。</p> <p>○プライベートな空間であり、所有者・利用者の手によって維持・管理される空間です。</p> <p>○屋内は景観に影響を及ぼすものではありませんが、快適な屋内空間の設計にあたっては、景観を積極的に活用することもできるため、関連づけて考えることが大切です。</p> <p>（私的領域の例）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>建物の低層部からの眺め</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>建物中高層部からの眺め</p> </div> </div>